

(4)ポストコロナを見据えた地域づくりの推進 ～賑わいの創出と観光の復興に向けて～

県土整備部
道路企画課

電話2739

(1)公共空間の再編

- バスタ四日市事業を推進するとともに、津駅前空間について社会実験を行いながら計画を具体化
- 他の駅周辺や観光地周辺の道路空間についても、再編可能性の検討を進める

<津駅前空間の例>

津駅周辺空間の基本的な方向性

津駅周辺空間の基本的な方向性

<現在の駅周辺空間が形成されて約半世紀、新たなステージへ>

地方都市が主役のポストコロナ時代において

みえ県都の顔となり、**地域の活力**を引き出し、**災害にも強い**空間へと再生

(1)公共交通の利便性の強化

浸水等の災害時の対応の強化

(検討例)

駅前広場の立体的活用による
交通防災ターミナル



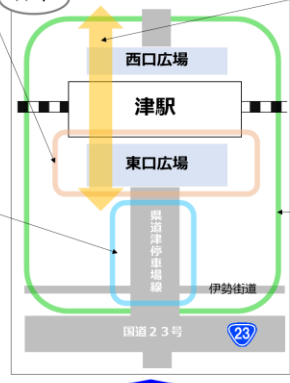
(2)歩行者の賑わいや滞留機能の強化

(検討例)

道路空間を再編、新たな価値を創る
人中心の駅前ストリート



ハード



(3)東西連携の強化

(検討例)

東西を快適に移動し、交流を高める
東西自由通路



(4)駅周辺の回遊性の強化

(検討例)

来街者が楽しく、安全に巡る
サイン・グリーン・ライト



ソフト

官民協働によるマネジメント

ユニバーサルデザイン

デジタル化

周辺地域との連携

新たな技術や仕組みを積極的に取り込みながら、継続的な進化

➤ R4年度:国・県・市で計画を具体化

社会実験

R3年度

歩道空間拡張に向けて
県道を6車線から4車線
に交通規制し、交通への
影響を調査



R4年度

歩行者の賑わいや滞留
機能の強化に向けて
歩道空間を利活用する
社会実験を実施



(4)ポストコロナを見据えた地域づくりの推進 ～賑わいの創出と観光の復興に向けて～

県土整備部
 県土整備総務課 電話2762
 道路建設課 電話2630
 道路管理課 電話2677

(2) 観光地へのアクセス道路の改善

○ 観光地の課題について、地元と連携して、短期・長期の対策を講じることにより、効果を早期に発現

<丸山千枚田の例>



大型バスでも見に行ける丸山千枚田に!

短期対策
 ▶ 駐車スペースの整備

現状車のすれ違いが困難な未改良区間が約6割



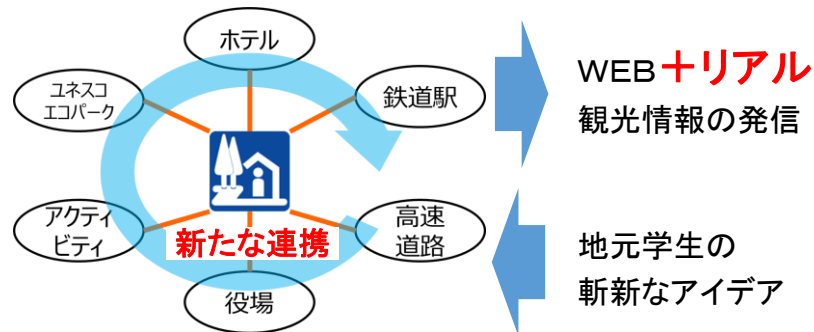
県道熊野矢ノ川線

短期対策
 ▶ 安全に車のすれ違いができる待避所の整備
 ▶ 案内表示の充実 等
 長期対策
 ▶ バイパスの整備

国道311号

(3) 「道の駅」の新たな連携による観光PRの促進

○ 周辺観光施設や高速道路等と連携した、リアルな観光情報の発信について、学生のアイデアを活かしながら強化



(4) 地域文化を感じる道路空間づくり

熊野古道等の周辺道路で、来街者に地域文化を感じていただける案内表示や附属施設の工夫等を実施



イメージ
案内表示の例



附属施設の例(木製ガードレール)
写真提供:和歌山県

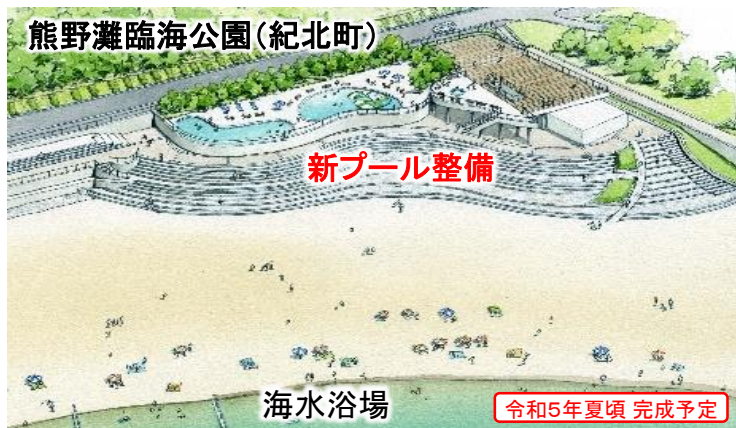
(4) ポストコロナを見据えた地域づくりの推進 ～ワーケーション等の推進～

県土整備部
都市政策課 電話2706

(1) ワーケーション推進に必要な公園整備

- ワーケーション推進により、広域的な集客力を強化し、都市公園を活用した観光誘客を促進

新たな誘客施設(新プール)を整備



官民連携の相乗効果により集客力をさらに強化

コテージをワーケーション
対応にリニューアル

民間投資により
グランピングドームを整備



(2) Park-PFI手法による公園整備

- 民間活力の活用(Park-PFI※)により、公園のさらなる魅力向上を図り、新たな賑わい空間を創出

民間活力を活用し、新たな賑わい空間にリニューアル



民間活力導入に向けての
キッチンカーイベント



※Park-PFI

公園内に設置する収益施設(飲食店等)から得られる収益を活用して、その周辺の園路や広場等の公園施設を一体的に整備する民間事業者を公募により選定する制度。